

学校名	新座市立 石神小学校
実施日	平成30年1月27日

評価項目「独自」					
No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
1	学校は習熟度に応じた指導や、個別指導補足的な学習を行い、児童の基礎的学力を定着させるよう組織的に実践している。	B	<ul style="list-style-type: none"> 補足的な学習は行っているものの、内容や進め方の意識に学級差がある。 補充学習できる環境を整えていく必要がある。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 算数の少人数学習や朝学習、ふれあいタイムなど週時程に組み込まれており、学力向上につながっている。 前年度と比較し、学力テスト等から向上が見られる。
2	学校は「反復横跳び・20mシャトルランの記録向上」を目指し、児童の体力が向上するよう、授業や休み時間などの取組を工夫し、実践している。	B	<ul style="list-style-type: none"> 体育の授業の時間に進めているが、本年度は休み時間での取組は行われなかった。 年間を通して計画的な体力向上に向けての取組を行う必要がある。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度の新体力テストの結果と比較し、向上している。休み時間は行わなかったものの、体育の授業の時間の一部を使い、体力向上に向けての動きを継続的にやっている。 春の運動会で成果を感じた。
3	学校は家庭での学習を定着するよう、各学年の発達段階に応じた家庭学習を提示し、基礎学力の定着を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 家庭での学習は行わせているが、今日学習したことを宿題で行い定着を図るといった宿題の出し方をする必要がある。 学年で足並みがそろってきているが、保護者の協力が得られない家庭が多い。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 共働きの家庭や、シングルな家庭が多いため、家庭での協力が難しい現状がある。 「家庭学習のすすめ」を作成しているが、各家庭でさらに浸透できると良い。

評価項目「組織運営」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
4	学校は校務分掌や主任制を適切に機能させるなど、組織的な運営・責任体制を整備している。	B	<ul style="list-style-type: none"> 部会の回数が少ないため、部で動き切れていない。 一人で動いてしまうことが多いので、組織で行動できるよう計画をたてる必要がある。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 運動会や音楽会などの行事や授業参観等、学年主任や教科主任等を中心に役割分担し、協力して取り組んでいる姿が見受けられた。
5	学校は経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて、PDCAサイクルに基づく学校経営を行っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議や朝の打ち合わせ等で経営方針にかかる課題など話しをし、改善に取り組んでいる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の検証が生かされており、年々成果が上がっていると感じる。 個々の教師のやる気が児童に反映している。
6	学校は事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルはあるが、職員が意識できていない。 大規模改修があり、不審者対応の職員研修ができなかった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルについて、知らない保護者が多い。ホームページだけでなく、各家庭にも周知できる工夫を期待したい。

評価項目「学力向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、学習ルールを定め、それに基づいた授業を展開している。	B	<ul style="list-style-type: none"> 学習ルールを定め、授業展開できている学級とできていない学級とがある。職員の意識に課題がある。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いて学習に臨んでいる。挙手の際に、「はい、はい」と声をあげ挙手している子がおらず、規律が徹底していると感じられた。 学校としての規律が保護者にも分かるよう工夫し、保護者の規律に対する意識を高めたい。
8	学校は、各教科の指導において言語活動を重視した授業を展開し、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 身につけているかどうかまだ手ごたえはないが授業改善はなされている。 自分を表現する具体的な手立てについては、今後研修を重ねる必要がある。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 国語科の研究成果が、他教科にも生かされているように感じた。
9	学校は学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達の段階や学力、能力に即した学習指導を行っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領等の理解を行わず、独自の内容や方法で指導を行っている教職員がいる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を使用し、授業を進めていて良い。
10	学校は、英語(英会話)の授業の充実するなど、グローバル化に対応できる児童生徒の育成(国際理解教育の推進)に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 英会話の時間については、様々な工夫をして取り組んでいる。 時間数が減らないよう、意識し、計画的に取り組んでいる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 知識だけでなく、体を動かしたり、声を出したりと、児童の発達段階に応じて工夫されていて良い。 楽しく授業している様子が伝わった。

評価項目「豊かな心の育成」

No.2

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができるよう指導し、成果をあげている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・まだできていない児童がいる。 ・敬語と挨拶は家庭の問題も絡むところがあり、長年の課題である。 ・まず、教師が正しい言葉を遣うべきである。 ・児童とのけじめがない態度をとる教員が見られる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭へのアプローチが必要である。学校だけの問題ではないと思われる。 ・家庭でのしつけができていない状況に課題がある。
12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送れるような環境を整備している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ等、問題が起こった際にチームで取り組む土壌ができてきた。 ・教師の児童への対応に課題があり、いじめを生み出す行動をとる職員がいたため管理職が指導した。そのため、倫理確立委員会と関連させ研修を行い、児童が安心できる環境づくりに違う角度から取り組んだ。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・組織として取り組もうとする姿が見られる。
13	学校は教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規律意識を高める指導を行っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教員がまず共通理解を行い、児童を6年間かけて育て、高める意識をもって行動することが大切である。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・さらなる教師の姿勢に期待したい。 ・叱るとき言葉が荒れる教師がいる。先生のまねをする児童が出てくることを考えると、教師は自身の言葉遣いを留意することが極めて重要である。

評価項目「健康・体力の向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上集会を朝の活動で位置づけたが、計画的でなかった。 ・年間を通して取り組める体力向上集会にしたい。 ・休み時間の取組は行われなかった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が積極的に子供と運動する姿が見られて良い。 ・大縄跳びや一輪車を購入して欲しいと教師から声があがるということは、体力向上させたいという思いの現れである。
15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・食育に関する取組は全学年に計画的に行うことができた。 ・次年度は学校保健委員会を充実させることにより健康教育をより推進できるようにする。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・魚の授業や味覚の授業など、食の授業を計画的に前向きに取り組む姿勢が見られる。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
16	学校は、PTA活動や地域活動に関心を持ち、保護者・地域と連携協力している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAとの連携はよく、行事等、保護者の協力がとて得られている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者対策や、安全対策等、保護者と学校・地域とが連携合って取り組んでいる
17	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや学校だよりでの教育活動の様子をもう少し増やした方が良い。 ・PTAだよりに校内研修や研究授業の様子を記載し、学力向上に取り組む学校の様子をPRした。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりやホームページ、メール配信等活用し、発信をよくしている。
18	学校は、学校応援団組織を活性化させるとともに、保護者や地域と連携して声かけ運動、美化活動、不審者対策など、計画的に実施している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせや図書館整備の活動は、計画的に進めることができたが、植栽活動については保護者が働いている方ばかりで、常時活動がほとんどできていない。コミュニティスクールを機にあり方をかんがえる必要がある。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・おやじの会やどろんこの会等、応援団が組織化されていて良い。 ・限られた時間の中で、保護者が良く動いてくれている。